

名古屋ダルク/ワンネスグループ ジョイントイベント

ギャンブル・アルコール・ドラッグ・ゲーム・共依存生きづらさでお困りの方へ

知ることは防ぐこと、知ることは解決への第一歩

やめられないをやめられるへ

専門家育成の先にある、日本の依存症業界の未来とは

参加費
無料

※資料代 1000円

2017年 **9月23日(土)** 12:00~16:45 (開場 11:00)

ウィルあいち 大会議室

名古屋市東区上笠杉町1番地

問い合わせ/一般財団法人ワンネスグループ奈良オフィス
tel.0745-24-7766 info@oneness-g.com



ACCESS

- ・地下鉄名城線「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約10分
- ・名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分
- ・基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約10分
- ・市バス幹名駅1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分



メインプレゼンター
柴真也

Shinya Shiba



メインプレゼンター
伊藤 宏基

Hiroki Ito



メインプレゼンター
三宅 隆之

Takayuki Miyake



メインプレゼンター
オーバーヘイム 容子

Yoko Oberheim



ファシリテーター
矢澤 祐史

Yuji Yazawa

先進的な取り組みを続けてきた2団体が、初めてのジョイントイベントを開催します。

アルコールやギャンブル、薬物、インターネットや人間関係など、「何か」に強く依存し、そのために日常生活が破たん、家族や大切な人を巻き込んで苦しんでいる方は、相当数存在しています。こういった依存症に陥るケースは、年齢や性別、社会的な立場は関係なく、今、心の問題として社会的に注目され、対策が急がれています。

そんな中、国内において、先進的な取り組みを続けてきた2つの依存症回復支援団体がジョイントして、依存症について考えるイベントを開催。依存症の経験があり、現在、回復支援の専門家として活躍している施設代表者らが登壇、依存症について語り、業界の未来像を提言します。

問題解決のためには、まずは知ることから。今、依存の症状にお悩みの方やご家族だけでなく、回復支援に携わる関係者の方にも、一緒に考えませんか? 「やめられない」をやめる、第一歩に。



名古屋ダルクとは

名古屋ダルクは全国で二番目の DARC として平成元年に名古屋市北区に開設され、依存症や乱用、問題行動の相談、薬物乱用防止指導、依存症からの脱却に必要な知識やテクニックの教育指導、啓発などを行っています。一般的に DARC の指導員は当事者、いわゆる「依存症回復者スタッフ」ですが、自己体験に基づく為、教育できる範囲が狭いのが悩みでした。名古屋 DARC はお陰様で 29 年目を迎えました。老舗の DARC として新しい試みを取り入れています。ワンネスグループと提携し国際水準の依存症回復支援サービスを目指し提供していきたいと考えています。現在、米国アディクション認定カウンセラーと ICCE (国際アディクション専門職認定教育センター) 認定リカバリーコーチなどアディクション支援の有資格者達が勤務しており、相談や教育、カウンセリングを行っています。



名古屋ダルク
DARC
国際・アルコール依存症回復センター

ワンネスグループとは

一般財団法人ワンネスグループは、特徴ある回復支援施設や相談支援機関など依存症についての包括支援に取り組む団体です。依存症からの脱却に必要な施設環境に、幅広い選択肢があることがワンネスグループの強みのひとつです。提供するプログラムは世界各国における最先端のスキルを随時導入。回復支援従事者の専門職化のため、各国と連携。コロンボプラン ICCE (国際アディクション専門職認定教育センター)、NADAI (国際アルコールドラッグインタベンション協会)、IGCCB (国際問題ギャンブルカウンセラー認定委員会) などの認定スキームを日本に導入しています。また、農園や飲食店などの雇用創生事業、家族をサポートする「日本ファミリーインタベンションセンター」、依存症が背景となる触法行為をきっかけに回復の場へと促す「ダイバージョンセンター」では弁護士と連携しており、様々な角度から回復支援に取り組んでいます。さらに、依存症の「予防教育」や「早期発見・早期対処・再発防止」といった公衆衛生に寄与する啓発活動(セミナー、講演会、出版など)も行っております。失っていた自尊心や希望を取り戻し、自分らしい生き方をスタートしていただく「マイナス10からプラス10への回復」が、ワンネスグループが行っているサポートです。



英和、ギャンブル、アルコール依存症回復のエキスパート
ONENESS GROUP
一般財団法人ワンネスグループ